

文化財を活用した取り組みについて

1. 歴史文化遺産のネットワーク化

京街道歴史回廊

- ・枚方宿鍵屋資料館と（公財）天門美術館の共催で、枚方宿に所縁のある田能村直入の作品を展示。
- ・枚方宿地区で「まちかどギャラリー」を地域と協働で開催予定。

東高野街道歴史回廊

- ・東部地域旅行会社主催の地元を歩くツアー「じもとりっぷ」（今秋実施予定）に写真や資料を提供。

交野ヶ原歴史回廊

- ・整備中の特別史跡百済寺跡に全国的にも珍しい「透過パネル」を設置。
- ・お茶の京都 DMO（（一社）京都山城地域振興公社）主催の特別史跡百済寺跡や近隣市を巡る日帰りツアーに協力。
- ・Hirason※の取り組みで、AR で百済寺跡の東塔・西塔・金堂を復元。

※（ひらかたアイデアソン・ハッカソンプロジェクト）産官学で地域の課題を解決するプロジェクト

2. 文化財の積極的な公開

- ・国立民族学博物館との連携で鋳物の歴史を学ぶ教育パック「地域文化の宝箱」を作成。
- ・本庁舎本館 1 階入口の文化財展示コーナーをリニューアルし、楠葉牧で生産された河内鍋などの出土遺物を展示。生涯学習施設の展示ケースも順次リニューアル中。
- ・今秋オープンの枚方市総合文化芸術センターのひらしん美術ギャラリーで、「HIRATAKARA 展」（会期 9 月 29 日～10 月 4 日）を開催予定。

- ・文化財を市長が巡る「ブラタカシ」で特別史跡百済寺跡と禁野本町遺跡を広報ひらかたで紹介。YouTubeでも公開している。
- ・「東京 2020 パラリンピック聖火枚方採火イベント」を8月14日に特別史跡百済寺跡で開催予定。
- ・広く市民に文化財に興味関心を持ってもらえるように、裾野を広げる取り組み。
- ・幅広い層に文化財に親しんでもらうため、枚方の文化財をモチーフに「HIRATAKARA（枚方の宝物）」と銘打ち、市PR大使のたけうちちひろさんに切り絵で表現してもらった。

3. アフターコロナと文化財の活用

- ・国立研究法人情報通信機構（NICT）の協力で、枚方宿鍵屋資料館と旧田中家鋳物民俗資料館の館内の360度映像を撮影し、バーチャル体験学習動画を作成。YouTubeで公開している。
- ・文化財展示施設と史跡を巡る「文化財クイズラリー」の実施。

4. 多角的な視点による文化財の活用や風習・年中行事の継承

- ・広報ひらかた9月号で祭礼の写真を募集し、旧田中家鋳物民俗資料館でパネル展を実施する予定。また、収集した写真や思い出話を祭礼行事や地車、神輿などの調査のきっかけとする。